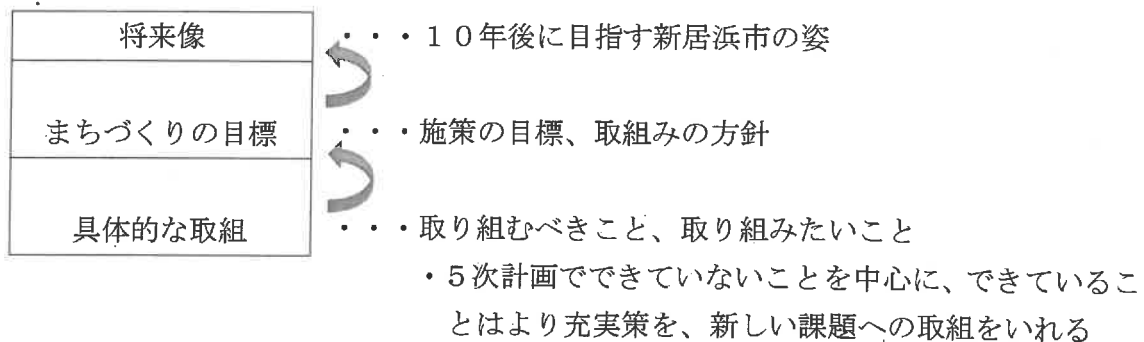


第6次長期総合計画 第4ワーキンググループ（市民安全）会議
ワークショップの手法を用いた今後の会議の進め方について

(1) WGで取りまとめる内容について



(2) これからのWGの進め方（各会議の内容）

会 議	内 容
第1回（12/3）	現状と課題、第5次計画の取組内容、方針等の説明
第2回（1/15）	ワークショップ方式（①防災、②消防、③地域コミュニティ） ○テーマ毎に取り組むべきこと、アイデア、キーワードを議論 ・ソフトとハード、人の要素、ものの要素、仕組みの要素 ○時間があれば、意見を類型に集約し目標のイメージを議論
第3回（1/22）	ワークショップ方式（①消費生活、②男女共同参画、③移住・定住の促進、④ボランティア、⑤国際交流） ○テーマ毎に取り組むべきこと、アイデア、キーワードを議論 ・ソフトとハード、人の要素、ものの要素、仕組みの要素 ○時間があれば、意見を類型に集約し目標のイメージを議論
第4回	第2回、第3回の議論を踏まえて、目標、将来像の議論

(3) ワークショップの手法

- ・会議はWG委員、担当課長、専門部会委員（職員）全員がプレーヤーとして参加する。
- ・ファシリテーターが進行役となり、参加者から順に意見を求める。（全員発言）
- ・ホワイトボードに意見を書き込んでいき、発言内容を全員で共有、確認する。
- ・発言は1回につき1人1分以内。結論ではなく、多くの多様な意見を求める。
- ・ファシリテーター（進行とホワイトボード記録）は長井、平田で担当する。